

一関市議会 広聴広報委員会 記録

会議年月日	令和8年1月29日(木)			
会議時間	開会	午前9時58分	閉会	午後0時01分
場 所	第2委員会室			
出席委員	委員長 猪 股 晃		副委員長 菅 原 行 奈	
	委 員 佐 藤 真由美		委 員 石 黒 一 広	
	委 員 千 葉 誠		委 員 皆 川 千 秋	
	委 員 千 葉 ちあき		委 員 佐 藤 進 治	
	委 員 森 英 隆			
遅 刻	遅 刻 なし			
早 退	早 退 なし			
欠席委員	欠 席 なし			
事務局職員	調査係長 千葉 功一			
本日の会議に 付した事件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会だより第84号の校正について</li> <li>・市民アンケートについて</li> </ul>			
議事の経過	別紙のとおり			

# 広聴広報委員会記録

令和8年1月29日

(開会 午前9時58分)

委員長 : ただいまの出席委員は9名です。

全員の出席ですので、これより本日の委員会を開会いたします。

録画、録音、写真撮影を許可しておりますので、御了承願います。

これより議事に入ります。

(1)議会だより第84号の校正についてを議題とします。

初めに本日の進め方についてお諮りします。

この後、会議を暫時休憩し、編集事業者から原稿について説明いただき、自由討議の形で内容の確認を行いたいと思います。

その後、会議を再開し、協議、意見交換を行いたいと思います。

さよう進めることに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 : 異議ありませんので、さよう取り進めます。

それでは、この後暫時休憩し、編集事業者から説明を受けた後、自由討議の形で内容の確認を行いたいと思います。

暫時休憩いたします。

( 休憩 09:59~11:04 )

委員長 : 再開いたします。

事務局より編集事業者から提案のあった原稿とそれに対する修正内容についてまとめて説明をさせます。

千葉書記。

千葉書記 : それでは表紙から確認いたします。

表紙につきましては、山側に生き物をさりげなく登場させることが可能かどうかをイラストレーターに確認します。

あくまでもイラストレーターに一任しておりますので、本人の趣旨等を考慮したものにしたいと思いますので、あくまでも意見としてお伝えしたいと思います。

続いて2ページ、3ページでございます。

イメージカラーをフレッシュな感じにするために、青、緑色、オレンジとしたところでございますけれども、及川さんと千葉さんの色が同じような色になっているので、そこを分かりやすく例えば赤を入れるなど、表現を変えてみてはどうかという意見がありました。

高校生の名前の振り仮名ですけれども、一応アルファベットで表記しておりますが、分かりにくいというところもありますので、分かりやすくできないかという検討をお願いしたいと思います。

写真の使い方についてであります。活動しているところの写真があればイメージがつくのかということでございましたので、日本空糸株式会社のホームページから、写真などイメージが分かるような部分を使用してはどうかという意見がありました。

一目で分かるような形で、実際に高校生が訓練をしているところがあれば使っていただきたいと思います。

高校生の一言部分には、高校3年間で取り組んでいることや印象に残っていることなどについて、原稿をお願いしているところでございます。

続いて4ページ5ページでございます。

議案第82号、第83号の反対討論を追加することになります。

その分をその他のところの内容を若干削除して追加することになります。

全体的な掲載については、記事の内容等も含めて、後ほど編集業者と打合せしたいと思っております。

続いて一般質問でございます。

6ページの単語帳の紹介のところ、右下の単語帳の用語のひとつと解説コーナーの紹介は、あえて載せる必要はないかということで、ここに9ページの二次元コードを入れてはどうかという意見がありました。

10ページの千葉ちあき議員のその他のQ&Aは追加となります。

一般質問は以上でございます。

続いて12ページ、13ページはこのとおりでございます。

14ページにつきましては、2番の一ノ関駅東口土地活用事業の一番下の導入企業のイメージの中で、ファーストステージなど分かりにくい表現ということでございましたけれども、これについては内容を確認しまして精査したいと思います。

15ページにつきましては、政務活動費の部分と市議会短信の部分、若干体裁を変えて議長の台湾出張の報告を入れたいと思います。

最後に16ページでございますが、今回はこの内容で変更ありませんが、今後市民の声の写真撮影の際には、背景についても配慮しながら、写真撮影をお願いしたいと思います。

内容について以上でございます。

補足する部分がありましたら、お願いしたいと思います。

委員長：補足ですけれども、先ほどの二次元コードのなくなった分は、話の中では有機米の単語帳を入れるということでお願いします。

ほかにございませんか。

(「なし」の声あり)

委員長：なければ以上で質疑意見交換を終わります。

議会だより第 84 号については、事業者から提出いただいた原稿に事務局から説明があったとおり加筆修正を行うこととしたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 : 異議ありませんので、さよう決しました。  
以上で議会だより第84号の校正についての協議を終わります。  
暫時休憩します。

( 休憩 11 : 10～11 : 11 )

委員長 : 再開いたします。  
次に市民アンケートについて議題といたします。  
事務局より説明させます。  
千葉書記。

千葉書記 : 市民アンケートについての内容でございます。  
広聴広報に関するアンケートということで、趣旨など説明内容でございます。  
回答期限を令和 8 年 3 月 20 日としてはどうかという案です。  
回答方法については、アンケート用紙を各市民センターに配布してやっていただくという部分と、ウェブフォームからの回答でございます。  
周知方法につきましては議会だより、ホームページ、SNSなどを使用して、周知を図るということでございます。  
実施要領については以上でございますが、アンケート内容についてでございます。  
前回皆さんに確認いただきました内容を反映させて、若干配置等も変えながら、A 4 判両面 1 枚で回答できるようなものに体裁を整えてございます。  
内容につきまして、皆さんから御意見があった内容に修正してございますけれども、内容についてこれで問題がないか御確認いただきたいと思います。  
説明については以上でございます。

委員長 : アンケートの趣旨説明については、アンケート用紙の上段に書いて、アンケートと一緒にできないかと思い、参考資料として作成したものでございます。  
回答期限とか回答方法、周知方法それから協力依頼の部分について、私たちはイメージできていたのですが、新人議員の方々は、どのようにして周知し、回答してもらおうのだろうかというところがあったので、あえてここに記載しました。  
なかなか一般の方々にアンケートを回答してもらおうというのは難しいです。  
なので、今までは各市民センターに50部程度を、委員が手分けして、地元の議員がいなくてもありますから、そういうところを手分けして、こういう趣旨でアンケートに協力してくださいということで、各市民センターに50部程度アンケート用紙を持って行き、講座を受講しに来た方々とか、たまたま市民センターで独自の取組で訪れた方々

にアンケートをしていただいて、回収していただくというような手法をとっております。

回答が3月20日だとすれば、20日以降また私たちが回収に行くというような形になります。

それが一つのアナログ的な回収のやり方で、もう一つは、広く一般の方々にお知らせする方法として、議会だよりやホームページにQRコードを掲載し、アンケートフォームで答えていただくというような取組の2本立てで回収を行うという流れを想定しております。

アンケートのやり方について、皆さん方から御意見をいただきたいです。

この内容で決まりということではないので、たたき台としてつくただけですから、このようにしたほうがよいのではないかということであれば、御意見をいただきながら、進めていきたいと思えます。

いかがでしょうか。

菅原委員。

菅原委員：回答期限が3月20日になっておりますが、これは年度をまたいだりするのは、あまりよろしくないのでしょうか。

委員長：千葉書記。

千葉書記：特にそのようなことではありませんので、委員会で決めていただき、実際に皆さんにやっていただきますので、その辺のスケジュール管理の部分も協議いただきたいです。

委員長：菅原委員

菅原委員：例えば議会だよりの裏表紙の議会を傍聴してみませんかというところに、QRコードでアンケートが取れるようになればもっとよいと思えます。

今はQRコードでのアンケートが主流だと感じています。

そうすると、この議会だよりの配布が同時並行でよいとは思いますが、3月1日発行なので3月20日の締切りがどうなのかなと感じたところでした。

委員長：アンケート用紙もあるのだけれども、QRコードがあって、そこからアンケートを答えるやり方もあります。

w e b上や議会だよりにQRコードを掲載する形です。

アナログで手元に届いた方もそこから回答してもらうという手法もあるのですが、この集計というのはアナログなのですか。

例えばQRコードで回答したものは自動集計になるという話ではないのですかね。

千葉書記。

千葉書記：どのアンケートフォームを使うかで集計される内容は変わると思えます。

グーグルフォームを使うとかの種類です。

委員長：回答はなるべくアナログではなく、QRコードから回答してもらったほうが集計しやすいと思います。

そのため、紙のアンケートにもQRコードを載せておくのもよいと思ったところがあります。

それから回答期限ですが、3月1日号だと2月25日頃に配布されて各家庭に届くのかと思います。

それから20日間で回答となるのですけれども、多分受け取る側とすれば、アンケート記事を読んで、すぐ回答する人が多いかもしれません。

20日も経ってから回答する人はあまりいないと思うところもあります。

期間は3月31日まででもよいのですけれども、その分集計が遅れて、今度私たちの議論が遅れるということもあって、3月20日まででも31日でもいいのですけれども、年度を超えてしまうので、区切りとしてよくないのかというところもあります。

31日まででもよいと思いますが、いずれそれを集計して、その集計結果に基づいて委員会で議論をして、どのような形で広聴広報活動に取り組むかということにつなげていきますので、その議論を幾らかでも早くするためという趣旨もありますので、そこを酌み取っていただきながら、皆さん方で決めていただければと思います。

佐藤進治委員。

佐藤（進）委員：書いてもらうアンケート用紙は、どういう形で管理するのでしょうか。

アンケートの回答コーナーを設けるとかありますか。

委員長：アンケート用紙を配布するのは市民センターでしか行いませんので、市民センターで回収してもらうようお願いしております。

佐藤進治委員。

佐藤（進）委員：分かりました。

委員長：市民センターに来ている方々から回答してもらう確率は高いようです。

そのほとんどの人たちが議会だよりをたまに読んだことがあると回答する人たちが多いと思います。

本当は読んでない人の意見も必要なのですが、そこはウェブ上で何人が回答していただけるか分かりませんが、そのような意見をいただければよいと思います。

千葉ちあき委員。

千葉（ち）委員：アンケートを市民センターに置くと回収率も高いということですが、回答される年齢層の方がシニア層かと思います。

今回、高校生を取材したときに、議会だよりを見たことがありますかと聞いたら、見たことがあるとおっしゃって結構意外だったので、何かそういう若者にも配布する方法や、手広くするといろいろ回収など大変だと思うのですけれども、もっと若い人にもア

ンケートを書いていただけの方法を、学校に何部か渡すとかできたらよいと思います。  
それからウェブ上でもよいですし、そうやって年代別の人にも意見をいただきたい  
と思います。

委員長 : その視点はよろしいと思います。  
具体的にどうするかということも、皆さんから御意見をいただければと思います。  
休憩します。

( 休憩 11 : 23 ~ 11 : 36 )

委員長 : 再開いたします。  
市民アンケートのやり方でございます。  
回答期限については3月20日とし、アンケートの回答方法はアンケート用紙または  
ウェブフォームとします。  
周知方法については議会だより、ホームページ、SNS、あとはポスターを作成し周  
知したいと思います。  
協力依頼として、各市民センターに50部程度のアンケート用紙を配布し、回収も行  
います。  
それから各高校、短大、高専等には、ポスターを持って行き、QRコードから回答し  
ていただくような形で協力を仰ぐということでございます。  
どこの市民センター、高校等に持っていくかというのは、後日また改めて皆さん方と  
協議をした中で決めるということにしたいと思います。  
アンケートフォームの作成については森英隆委員に、広報等ポスターの作成につい  
ては千葉ちあき委員ということで、2人にたたき台を作成していただくことで進めたい  
と思います。  
議会だよりの期限は2月6日が最終校了ということになりますので、その前に事務局  
と打合せしながら、議会だよりへの掲載記事やQRコードをいつまでに作成してもら  
うかということになります。  
アンケートフォームについては、これから議論するアンケート内容に沿った形でつく  
られているわけですから、改めて皆さんに集まっていただいて協議するということ  
はしません。  
ポスターについても、委員長、副委員長に一任いただいて進めていきたいと思っ  
ております。  
その前に皆さんとの協議が必要となる場合は、改めてお示しする形で進めたい  
と思います。  
以上のような内容でアンケートを行うことについて、御同意をいただけますでし  
ょうか。

( 「はい」 の声あり )

委員長：御同意いただけましたので、さよう進めたいと思います。

続きましてアンケート内容の部分でございます。

この部分については、事務局で前回の意見等を踏まえながら作成しましたので、事務局から説明をいただき、その後、議論を進めていきたいと思います。

千葉書記。

千葉書記：市民アンケートについてでございます。

前回と変わった部分について説明させていただきます。

市民アンケートの1番、年齢区分ですが、各世代10代、20代、30代と続き、80代以上までとしました。

2番、3番については無回答という部分がありましたけれども、無回答は削除して、住まいの地域であれば市内各地とし、議会だよりを読んだことありますかという部分では、三つの回答に絞ったところでございます。

4番から9番までは、当初の内容と同じでございます。

10番は、内容をより詳しくしまして、無回答の部分を削除しております。

前回、項目にあった市議会の活動とか、そういう細かい内容を削除しまして、回答を少なくしてございます。

あとは自由に記載できる部分も含め、なるべく回答項目を減らして最低限にしました。文言等については前回確認いただいたとおりでございます。

若干変えた部分は、表記の仕方について体裁を整えるために順番を変えた部分がございますので、その部分について皆さんに確認いただければと思います。

以上でございます。

委員長：それでは今説明がありましたので、全体を通して皆様方の御意見をいただきたいと思えます。

千葉ちあき委員。

千葉（ち）委員：細かいことで申し訳ないですけれども、アンケートの10番の回答②のICNというのが、多分地元の方は結構周知されているのですけれども、ほかの地域の方には何のことかわかりにくいので、日本語の片仮名表記にしたほうが分かりやすいと思います。

委員長：そのように直すということで対応します。

そのほかございますか。

佐藤真由美委員。

佐藤（真）委員：市民アンケートをやる趣旨というのを、一番上のほうに簡単でよいので、皆さんとこれから懇談会をやるための参考にさせてくださいなど、一言入れていただいたほうがよいと思います。

市民センターには説明書というか意義が書いてあって、前回、興田市民センターには、

その説明書を置いて、その脇にアンケートを配置しておりました。

それが紙面の幅を取ってしまうかもしれませんが、意義を入れたほうがよいと思いました。

また、4番の③の施政方針演述というのは本来の言葉ですかというところです。

それとフェイスブック、インスタグラム、ユーチューブですが、更新されているのでしょうか。

書記：趣旨の説明については、今回資料としては別々になっておりますけれども、説明資料の部分もアンケートと一緒に盛り込みます。

アンケートの趣旨も入れて1枚で完結できるようにしたいと思います。

あとは公式SNSですけれども、フェイスブックとインスタグラムと一緒に更新しております。

ユーチューブに関しては、令和6年度に実施した議員全体会議を載せたところで止まっており、その後ユーチューブは行っておりません。

委員長：佐藤真由美委員。

佐藤（真）委員：4番の施政方針演説についてはどうですか。

委員長：議会のホームページを見てもらうと確認できると思いますが、これまでの議会だよりなど確認をして正しい表現にしたいと思います。

佐藤真由美委員。

佐藤（真）委員：市民センターに50部ずつとなっておりますけれども、興田市民センターでいうと30部がよいと思います。

回収率として50部というのはちょっと難しいです。

前は、そんなになかった気がしますので、50部までは要らないと思います。

委員長：休憩します。

（休憩 11:46～11:50）

委員長：再開いたします。

ただいまいただきました御意見を元に、修正事項等について事務局から説明をお願いします。

千葉書記。

千葉書記：アンケートの2番、お住まいの地域についてでございますが、高校生につきましては市外から通学する生徒もおりますので、一関地域以外としてその他を追加いたします。

4番の⑦市議会の取組の報告と⑩市民の取組の部分で、送り仮名に誤りがありました

ので、漢字のみとさせていただきます。

10 番の I C N 中継に関しては、I C N の表記を一関ケーブルテレビ中継とします。

8 番の S N S ですが、フェイスブック、インスタグラム、ユーチューブとし、ユーチューブに関しては、実際にアップしているものは少ないですけれども、やっているということを皆さんにも知っていただきたいということで、そのままとさせていただきますと思います。

確認内容については以上でございます。

委員長 : 以上のような内容でのアンケート調査になりますが、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

委員長 : さよう進めたいと思います。

アンケートは全体的に少し文章を入れるということもありましたので、趣旨などを記載し、A 4 判表裏 1 枚にするということです。

高校生に対しては、市外の子供たちに市民アンケートとなると、最初から自分には関係ないとなりそうですが、市民対象と決まりきった話ではなく、もう少し親しみやすい言葉があれば変えてもよいと思いますので、表現を検討したいと思います。

以上でアンケートの内容についての協議は終了といたします。

次に、その他、次回の委員会の開催日程についてお諮りいたします。

暫時休憩します。

( 休憩 11 : 54 ~ 12 : 00 )

委員長 : 再開いたします。

次回の委員会は、2 月 10 日の 11 時から開催し、議会だより第 85 号の紙面校正について、アンケートのポスターについての確認ということで進めたいと思います。

さよう決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 : さよう進めたいと思います。

その他なければ、以上で委員会を散会したいと思いますけれども、よろしいですか。

(「なし」の声あり)

委員長 : これをもちまして、本日の委員会を散会いたします。

御苦労さまでした。

(閉会 午後 0 時 01 分)